

複数施設研究用

一宮市立市民病院版

研究課題「脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血後の脳血管攣縮に関する研究」に関する情報公開

1. 研究の対象

本研究の対象者は2021/4/1から2022/3/31及び本研究の実施承認日から2024/3/31までの期間に、下記の施設にて脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血に対して48時間以内に手術治療を行なった方です。

〈対象施設〉

名古屋大学医学部附属病院 脳神経外科/愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院 脳神経外科/大垣市民病院 脳神経外科/岡崎市民病院 脳神経外科/JA 愛知厚生連 海南病院 脳神経外科/医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院 脳神経外科/独立行政法人 国立病院機構 名古屋医療センター 脳神経外科/公益社団法人 日本海員救済会 名古屋救済会病院 脳神経外科/日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 脳神経外科/日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 脳神経外科/独立行政法人 地域医療機能推進機構 中京病院 脳神経外科/JA 愛知厚生連 豊田厚生病院 脳神経外科/半田市立半田病院 脳神経外科/地域医療支援病院 市立四日市病院 脳神経外科/JA 愛知厚生連 江南厚生病院 脳神経外科/小牧市民病院 脳神経外科/春日井市民病院 脳神経外科/豊橋市民病院 脳神経外科/社会福祉法人恩賜財団済生会 静岡済生会総合病院 脳神経外科/地方独立行政法人 県立多治見病院 脳神経外科/一宮市民病院 脳神経外科

2. 研究目的・方法・研究期間

研究目的：

実臨床におけるクラゾセタンが使用可能な状況での脳血管攣縮予防成績を調査し、クラゾセタンの臨床的意義(脳血管攣縮予防効果、脳血管攣縮による脳梗塞発生抑制効果、日常生活自立度改善効果)を明らかにします。

研究方法：

研究実施承認日以降に脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血に対して48時間以内に手術治療を行った患者様の治療経過を前向きに観察し、2021/4/1から2022/3/31の期間で同様の疾患に対する治療を行った患者様の治療経過と比較します。

名古屋大学脳神経外科はクラゾセタン(商品名 ピヴラッツ)販売元であるアイドルシア ファーマシューティカルズ ジャパン株式会社より2023年度寄付講座開設のための資金提供を受けており、研究責任者は当該寄付講座を統括するため利益相反の関係にあります。

名古屋大学大学院医学系研究科 総合医学専攻 脳神経病態制御学講座 脳神経外科学分野・
客員研究員・荒木芳生

名古屋大学大学院医学系研究科 総合医学専攻 脳神経病態制御学講座 脳神経外科学分野・
客員研究員・宇田憲司

名古屋大学大学院医学系研究科 総合医学専攻 脳神経病態制御学講座 脳神経外科学分野・
博士課程・石井一輝

名古屋大学大学院医学系研究科 総合医学専攻 脳神経病態制御学講座 脳神経外科学分野・
博士課程・高柳海

『既存情報の提供のみを行う研究組織』

愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院 脳神経外科

脳神経外科代表部長・加野貴久

大垣市民病院 脳神経外科

脳神経外科部長・槇英樹

岡崎市民病院 脳神経外科

脳神経外科部長・錦古里武志

JA 愛知厚生連 海南病院 脳神経外科

副院長/医療安全管理部長/脳卒中センター兼脳神経外科代表部長・岡田健

医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院 脳神経外科

脳神経外科部長/脳卒中センター副センター長・西澤俊久

独立行政法人 国立病院機構 名古屋医療センター 脳神経外科

手術部長/脳神経外科医長・梶田泰一

公益社団法人 日本海員掖済会 名古屋掖済会病院 脳神経外科

脳神経外科部長・鈴木宰

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 脳神経外科

第一脳神経外科部長・波多野寿

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 脳神経外科

副院長/脳神経外科部長・関行雄

独立行政法人 地域医療機能推進機構 中京病院 脳神経外科

統括診療部長/リハビリテーションセンター長・前田憲幸

JA 愛知厚生連 豊田厚生病院 脳神経外科

脳神経外科代表部長・立花 栄二

半田市立半田病院 脳神経外科

副医務局長・島戸真司

地域医療支援病院 市立四日市病院 脳神経外科

副院長/脳神経外科部長・中林規容

研究代表者：

名古屋大学大学院医学系研究科 総合医学専攻 脳神経病態制御学講座
脳神経外科学分野・教授・齋藤竜太

一宮市立市民病院研究担当者：

〒491-8558 一宮市文京 2-2-22

一宮市立市民病院 脳神経外科・部長・山之内高志